

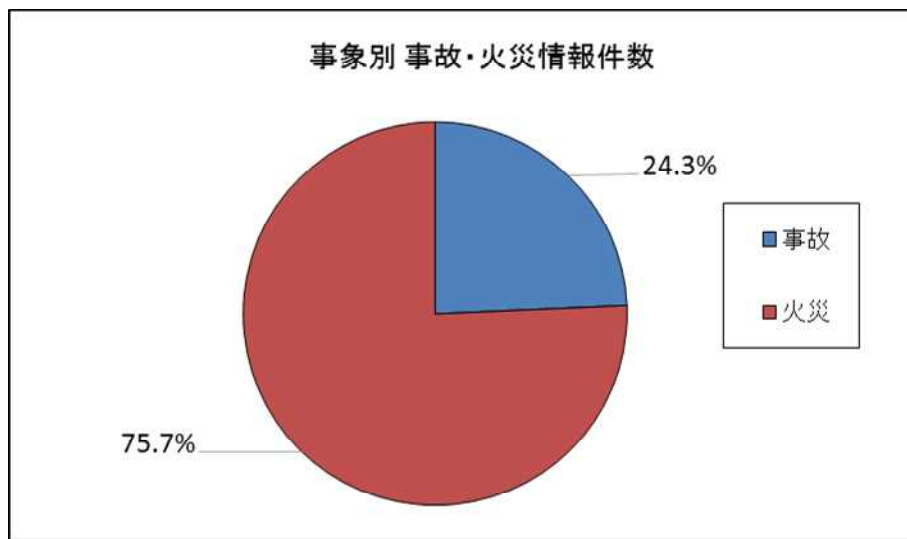
## 事故・火災情報の統計結果について(平成26年)

平成26年に自動車メーカーから報告があり、国土交通省のホームページにて公表している自動車の事故・火災情報について、統計的などりまとめを行いましたので公表します。なお、統計結果は自動車製作者等からの情報によるもので、国土交通省としてその内容のすべてを確認しているものではありません。

(重大な事故・火災情報は随時更新、その他の事故・火災情報は四半期毎の更新)

<http://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rcl/cgi-bin/search.cgi>

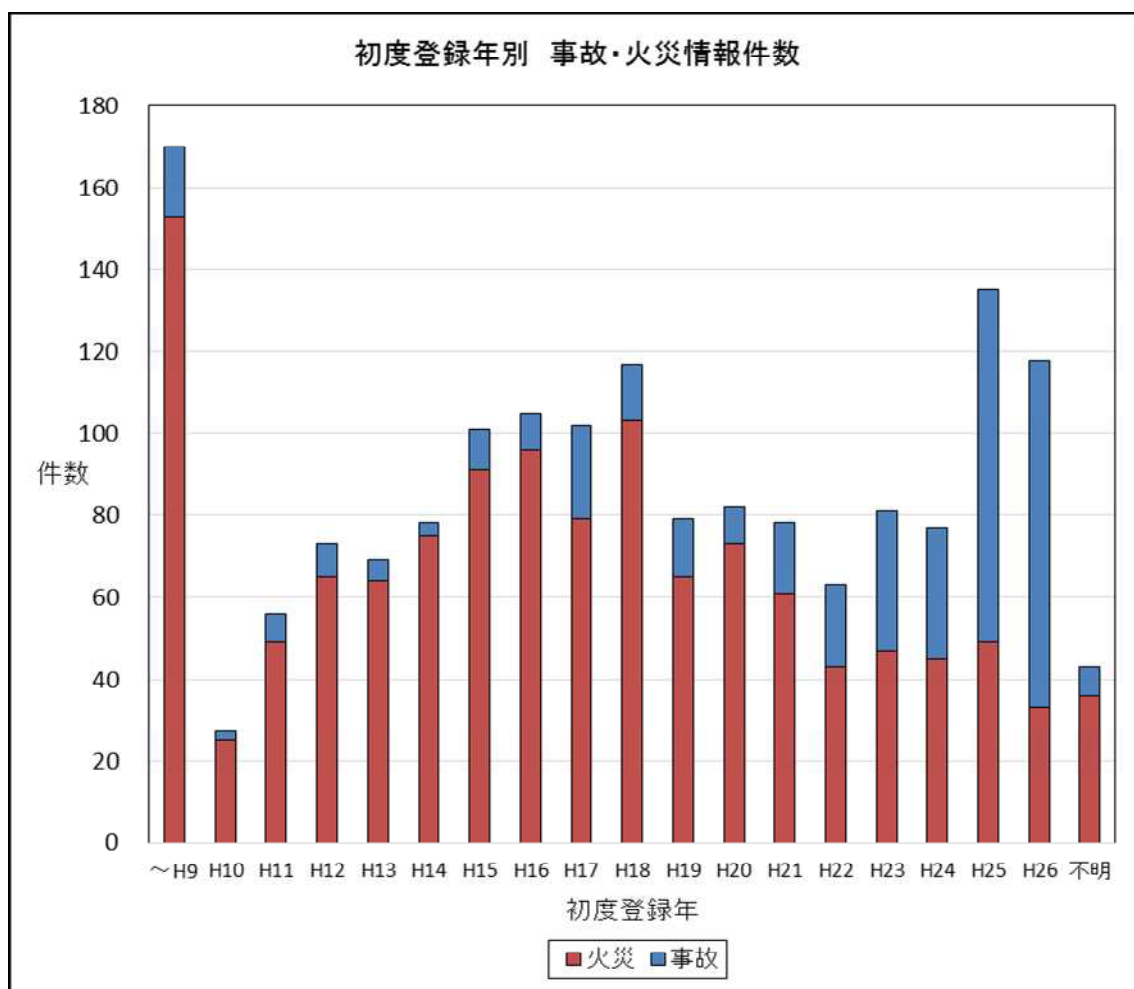
1. 事故・火災情報の総件数は1,654件であり、昨年と比べて127件増加した。内訳としては、事故402件(24.3%)、火災1,252件(75.7%)であり、火災情報が全体の約4分の3を占めている。昨年と比べ、事故が95件、火災が32件増加した。



(件数)

年別 \ 事象別	事故	火災	合計
平成26年	402	1,252	1,654
平成25年	307	1,220	1,527

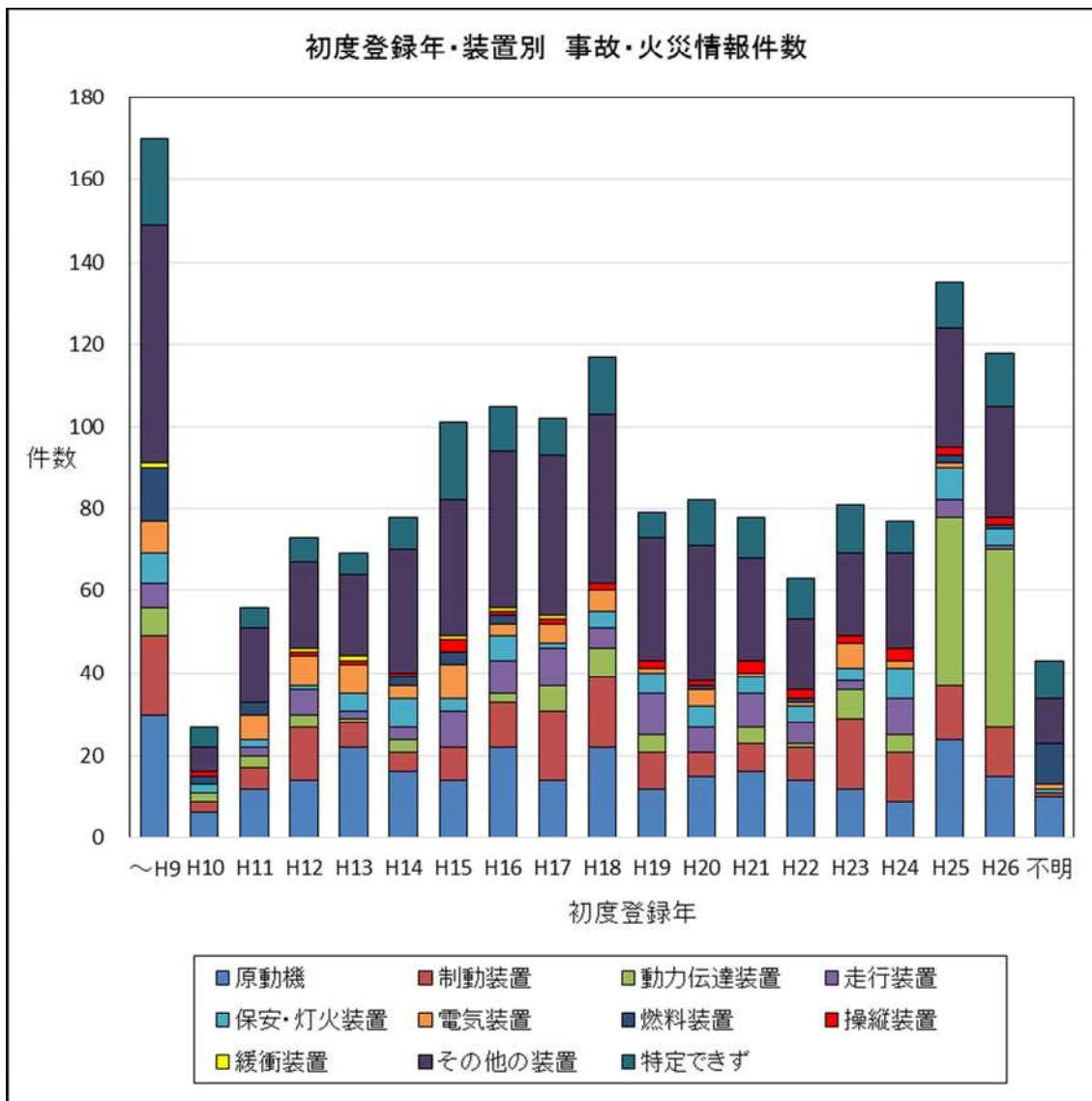
2. 初度登録年別の事故・火災情報件数は、平成 15 年から平成 18 年、平成 25 年及び平成 26 年で 100 件以上と件数が多くなっている。事象別でみると、事故件数は平成 25 年及び平成 26 年が最も多く、火災件数は平成 15 年から平成 18 年が多くなっている。次に、初度登録年別における装置別の事故・火災情報件数は、原動機が平成 22 年以前では最も多く、平成 23 年以降は制動装置、動力伝達装置が最も多くなっている。初度登録年別における原因別の事故・火災情報件数は、点検・整備に起因するものが多く、平成 12 年から平成 21 年まで 20 件前後である。



(件数)

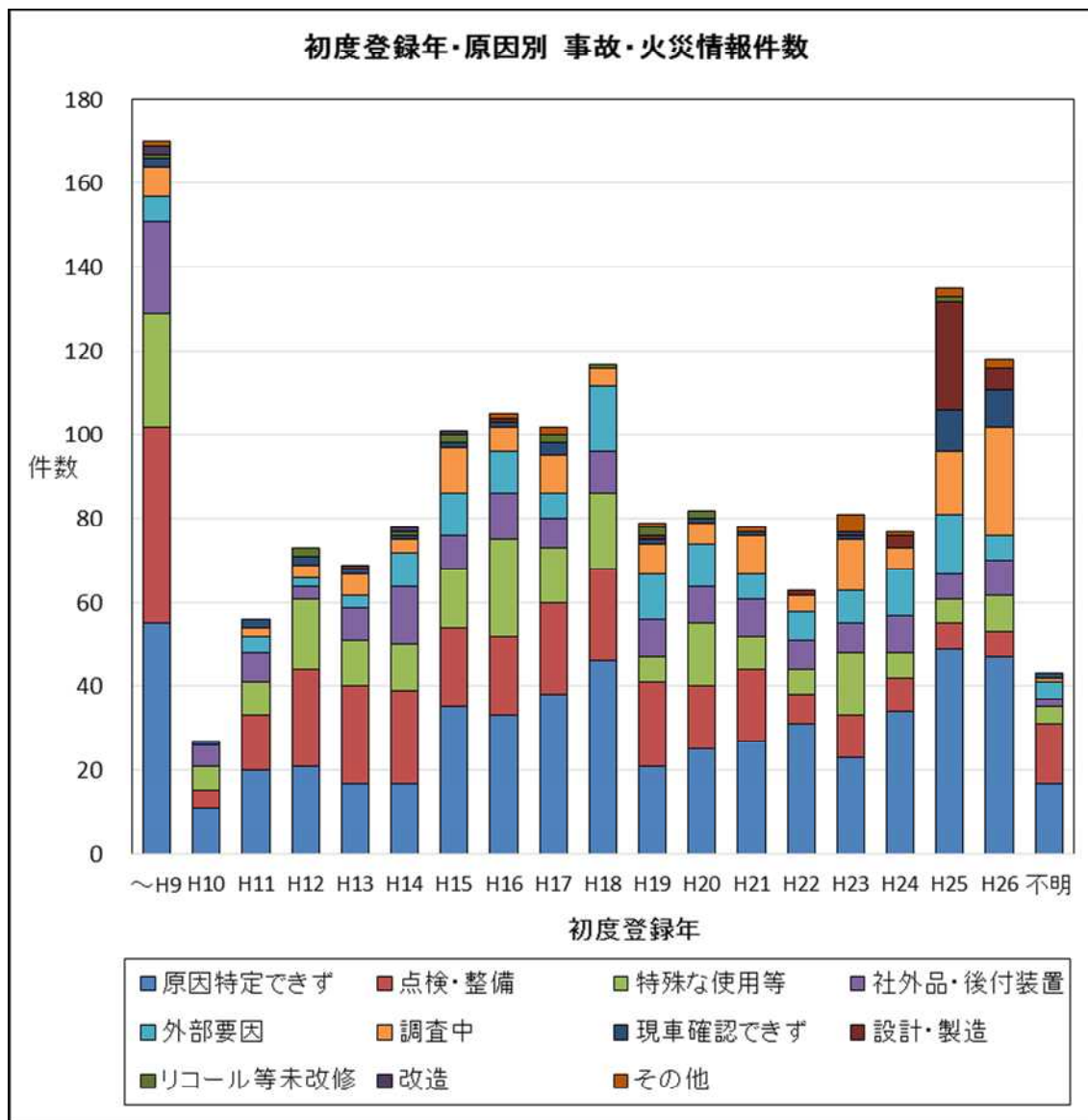
初度登録年別 年別	～H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	不明	合計
事故	17	2	7	8	5	3	10	9	23	14	14	9	17	20	34	32	86	85	7	402
火災	153	25	49	65	64	75	91	96	79	103	65	73	61	43	47	45	49	33	36	1,252
合計	170	27	56	73	69	78	101	105	102	117	79	82	78	63	81	77	135	118	43	1,654

2-A. 初度登録年・装置別事故・火災情報件数



装置別	初度登録年別																			合計
	～H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	不明	
原動機	30	6	12	14	22	16	14	22	14	22	12	15	16	14	12	9	24	15	10	299
制動装置	19	3	5	13	6	5	8	11	17	17	9	6	7	8	17	12	13	12	1	189
動力伝達装置	7	2	3	3	1	3	0	2	6	7	4	0	4	1	7	4	41	43	0	138
走行装置	6	0	2	6	2	3	9	8	9	5	10	6	8	5	2	9	4	1	0	95
保安・灯火装置	7	2	2	1	4	7	3	6	1	4	5	5	4	4	3	7	8	4	1	78
電気装置	8	0	6	7	7	3	8	3	5	5	1	4	1	1	6	2	1	0	1	69
燃料装置	13	2	3	0	0	2	3	2	0	0	0	1	0	1	0	0	2	1	10	40
操縦装置	0	1	0	1	1	1	3	1	1	2	2	1	3	2	2	3	2	2	0	28
緩衝装置	1	0	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
その他の装置	58	6	18	21	20	30	33	38	39	41	30	33	25	17	20	23	29	27	11	519
特定できず	21	5	5	6	5	8	19	11	9	14	6	11	10	10	12	8	11	13	9	193
合計	170	27	56	73	69	78	101	105	102	117	79	82	78	63	81	77	135	118	43	1,654

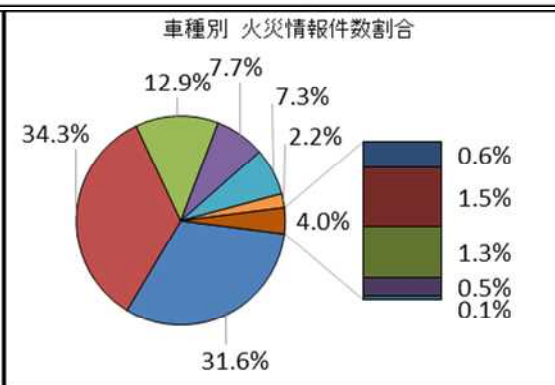
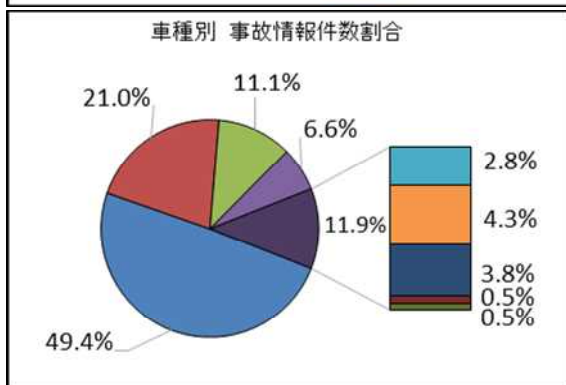
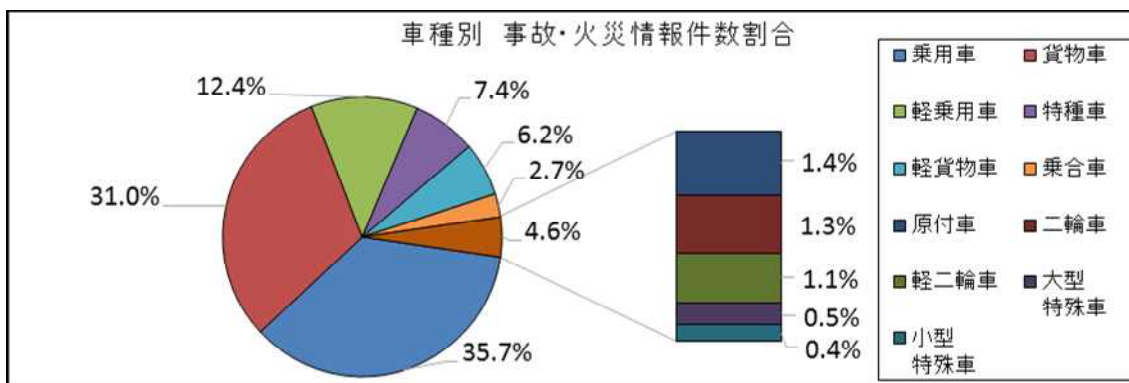
2-B. 初度登録年・原因別事故・火災情報件数



(件数)

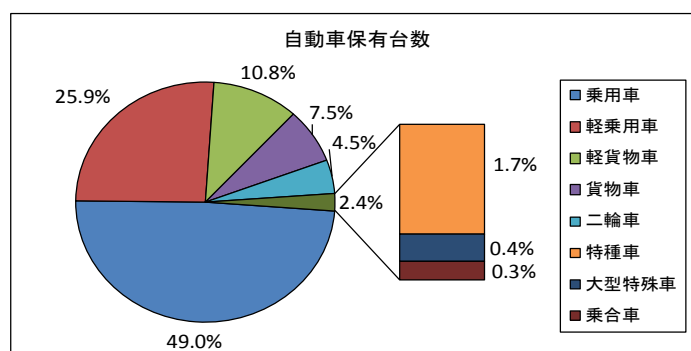
初度登録年別	～H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	不明	合計
原因特定できず	55	11	20	21	17	17	35	33	38	46	21	25	27	31	23	34	49	47	17	567
点検・整備	47	4	13	23	23	22	19	19	22	22	20	15	17	7	10	8	6	6	14	317
特殊な使用等	27	6	8	17	11	11	14	23	13	18	6	15	8	6	15	6	6	9	4	223
社外品・後付装置	22	5	7	3	8	14	8	11	7	10	9	9	9	7	7	9	6	8	2	161
外部要因	6	0	4	2	3	8	10	10	6	16	11	10	6	7	8	11	14	6	4	142
調査中	7	0	2	3	5	3	11	6	9	4	7	5	9	4	12	5	15	26	1	134
現車確認できず	2	1	2	2	1	1	1	1	3	0	1	1	1	0	1	0	10	9	1	38
設計・製造	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	3	26	5	0	38
リコール等未改修	1	0	0	2	0	1	2	0	2	1	2	2	0	0	0	0	1	0	0	14
改造	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
その他	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	1	0	4	1	2	2	0	15
合計	170	27	56	73	69	78	101	105	102	117	79	82	78	63	81	77	135	118	43	1,654

3. 車種別の事故・火災情報件数は、乗用車が 591 件(35.7%)、貨物車が 513 件(31.0%)、軽乗用車が 205 件(12.4%)の順となっている。これらを事象別(事故・火災)にみると、事故情報件数は、乗用車が 195 件(49.4%)、貨物車が 83 件(21.0%)、軽乗用車が 44 件(11.1%)と乗用車が最も多くなっているが、一方、火災情報件数は、貨物車が 430 件(34.3%)、乗用車が 396 件(31.6%)、軽乗用車が 161 件(12.9%)と貨物車が最も多い。なお、貨物車は、自動車の保有台数の割合(7.5%)に対しての情報件数の割合(31.0%)が高い傾向にある。



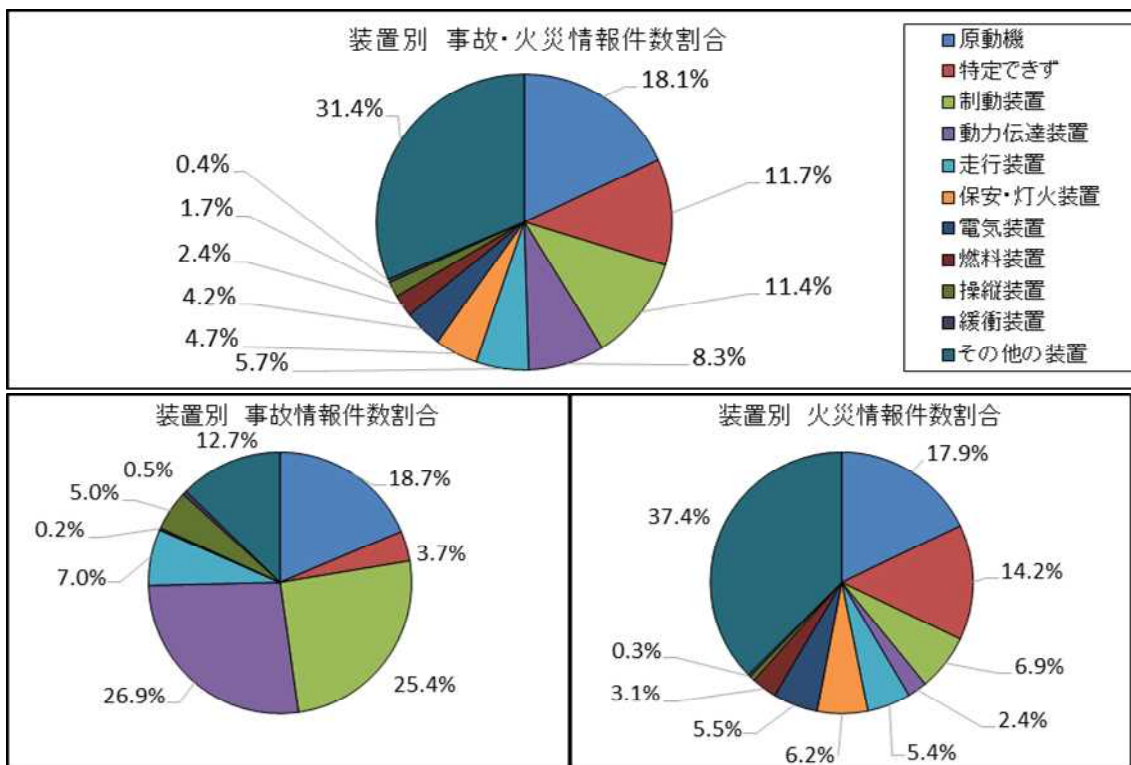
事象別	車種別											合計
	乗用車	貨物車	軽乗用車	特種車	軽貨物車	乗合車	原付車	二輪車	軽二輪車	大型特殊車	小型特殊車	
事故	195	83	44	26	11	17	15	2	2	2	5	402
火災	396	430	161	97	91	27	8	19	16	6	1	1,252
合計	591	513	205	123	102	44	23	21	18	8	6	1,654

(参考) 自動車保有台数



注: 自動車保有台数は、平成26年12月末現在における(一財)自動車検査登録情報協会の集計数字(小型特殊自動車及び原動機付自転車を除く。)より算出した。

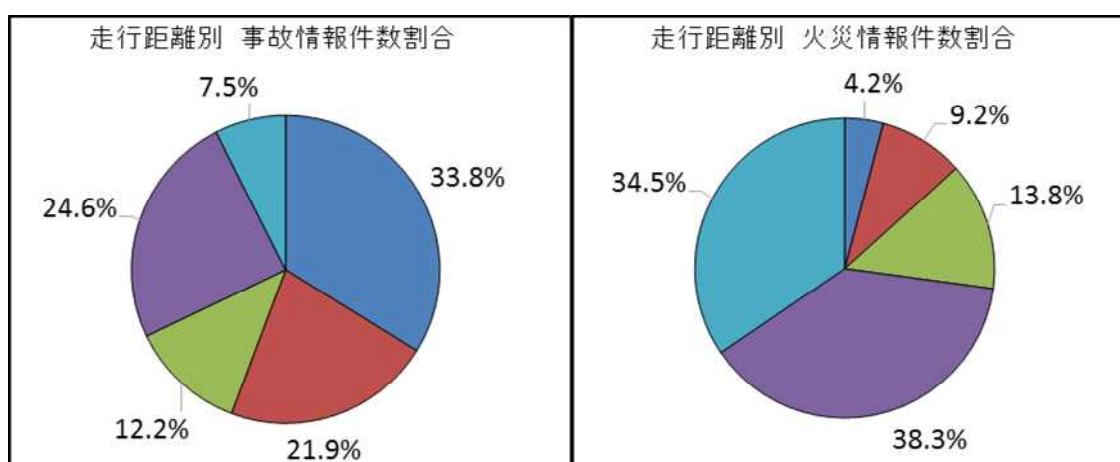
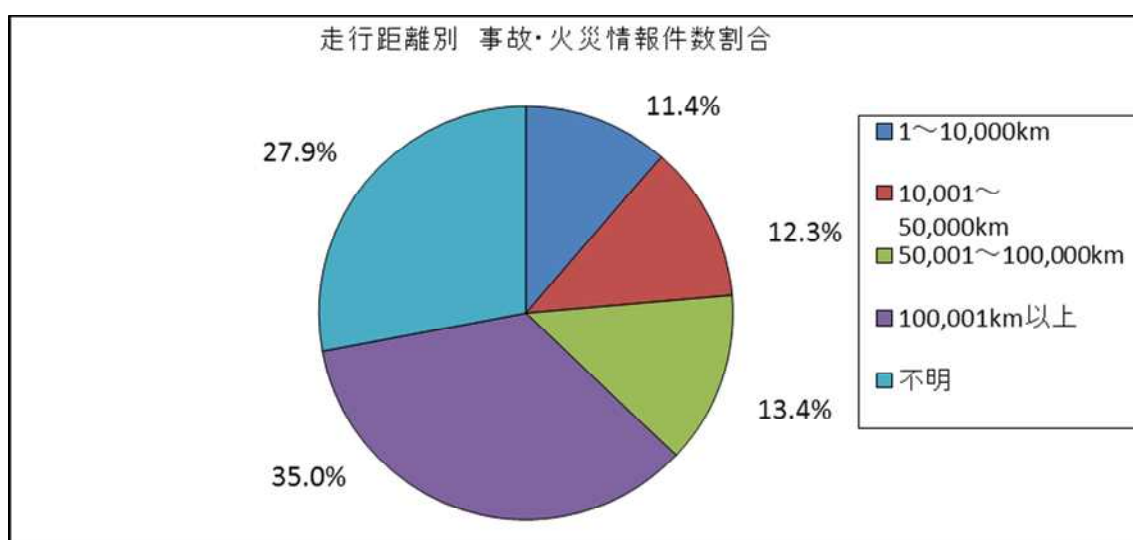
4. 装置別の事故・火災情報件数は、原動機が 299 件(18.1%)で最も多く、次いで制動装置が 189 件(11.4%)、動力伝達装置が 138 件(8.3%)の順となっている。事象別(事故・火災)の事故情報件数は、動力伝達装置が 108 件(26.9%)で最も多く、次いで制動装置が 102 件(25.4%)、原動機が 75 件(18.7%)の順になっている。一方、火災情報件数は、原動機が 224 件(17.9%)で最も多く、次いで制動装置が 87 件(6.9%)、保安・灯火装置が 78 件(6.2%)の順となっている。



(件数)

車種別 事象別	原動機	特定 できず	制動装置	動力伝達 装置	走行装置	保安・灯 火装置	電気装置	燃料装置	操縦装置	緩衝装置	その他の 装置	合計
事故	75	15	102	108	28	0	0	1	20	2	51	402
火災	224	178	87	30	67	78	69	39	8	4	468	1,252
合計	299	193	189	138	95	78	69	40	28	6	519	1,654

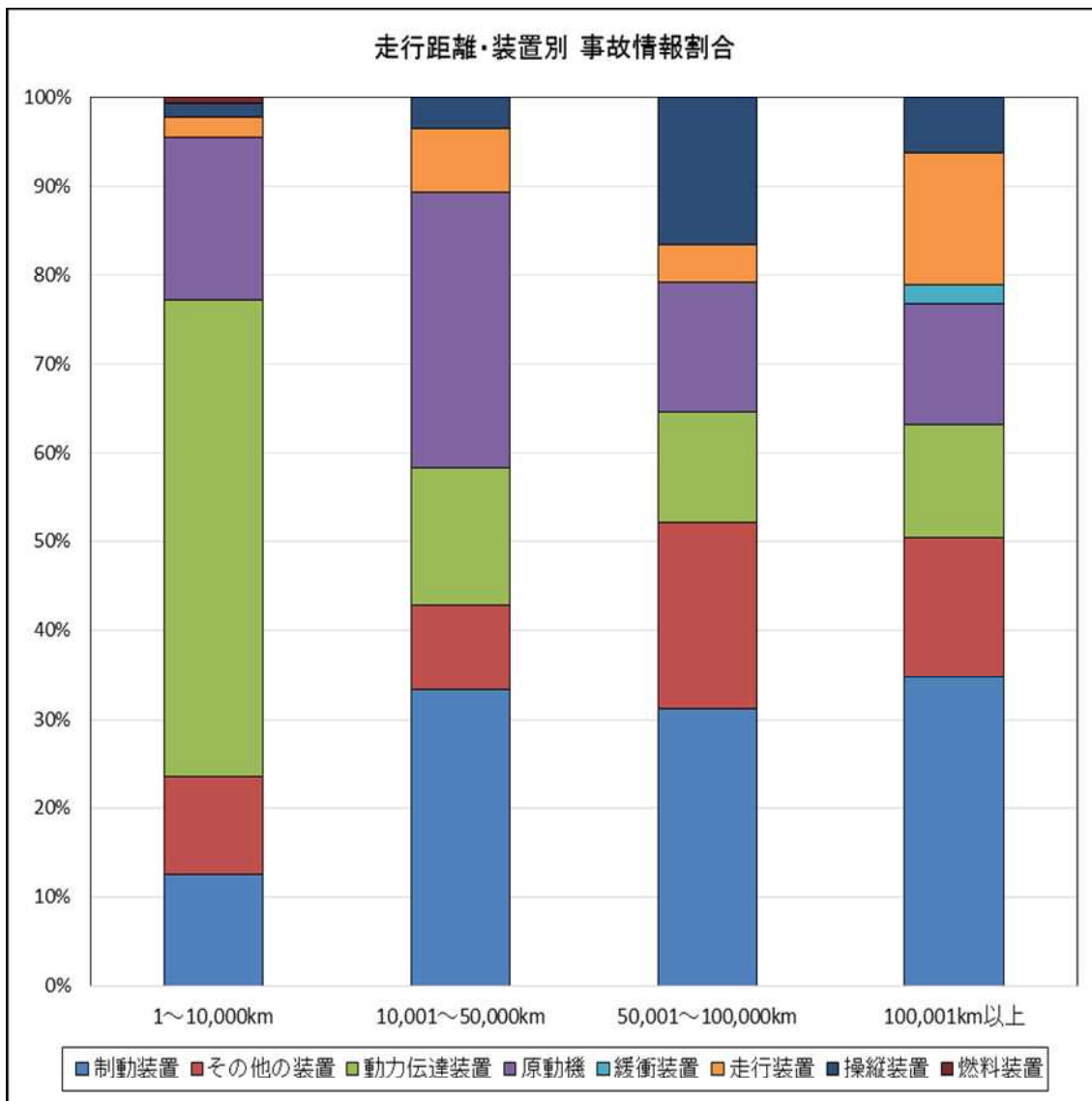
5. 走行距離別の事故・火災情報件数は、走行距離 10 万 km 超が 579 件 (35.0%) と最も多く、5 万 km 超-10 万 km 以下が 222 件 (13.4%)、1 万 km 超-5 万 km 以下が 203 件 (12.3%) の順となっており、走行距離が多くなるに従って事故・火災の割合が高くなっている。また、事象別(事故・火災)の火災情報件数も同様の傾向である。一方、事故情報件数割合は、走行距離 5 万 km 以下で 55.7% を占めており、比較的早期から事故が発生している。走行距離毎の装置別の件数については、事故情報割合では 1 万 km 以下は動力伝達装置が特に多く、それ以外では制動装置の割合が多い。一方、火災情報件数割合では、1km-1 万 km を除き原動機の割合が多い。また、比較的短い走行距離においては保安・灯火装置の割合が多く、長い距離では走行装置、制動装置の割合が多くなっている。



(件数)

走行距離別 事象別	1~10,000km	10,001~ 50,000km	50,001~ 100,000km	100,001km以上	不明	合計
事故	136	88	49	99	30	402
火災	52	115	173	480	432	1,252
合計	188	203	222	579	462	1,654

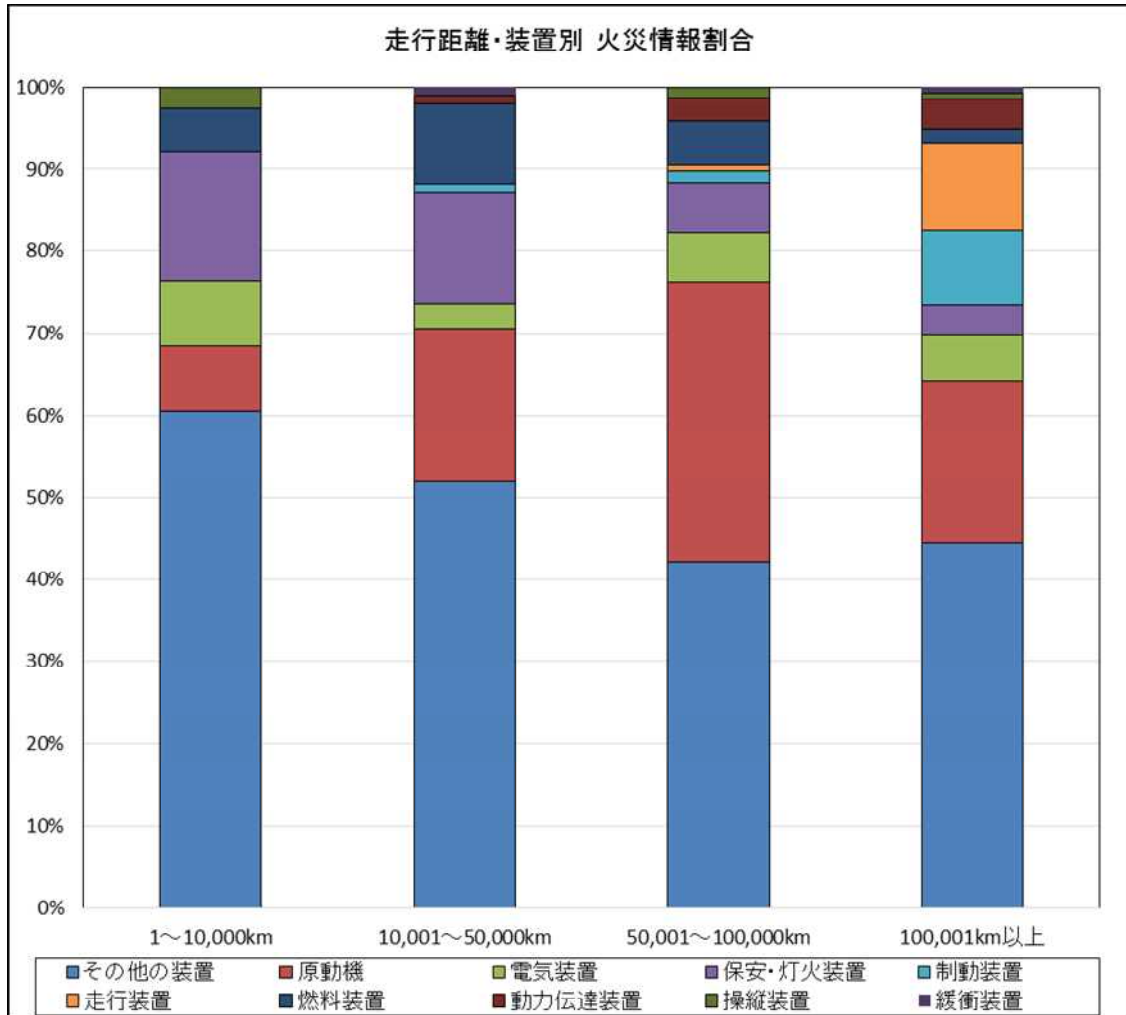
5-A. 走行距離・装置別事故情報件数



装置別	走行距離別		1~10,000km		10,001~50,000km		50,001~100,000km		100,001km以上	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
制動装置	17	12.5%	28	33.3%	15	31.3%	33	34.7%		
その他の装置	15	11.0%	8	9.5%	10	20.8%	15	15.8%		
動力伝達装置	73	53.7%	13	15.5%	6	12.5%	12	12.6%		
原動機	25	18.4%	26	31.0%	7	14.6%	13	13.7%		
緩衝装置	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.1%		
走行装置	3	2.2%	6	7.1%	2	4.2%	14	14.7%		
操縦装置	2	1.5%	3	3.6%	8	16.7%	6	6.3%		
燃料装置	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
合計	136	100.0%	84	100.0%	48	100.0%	95	100.0%		

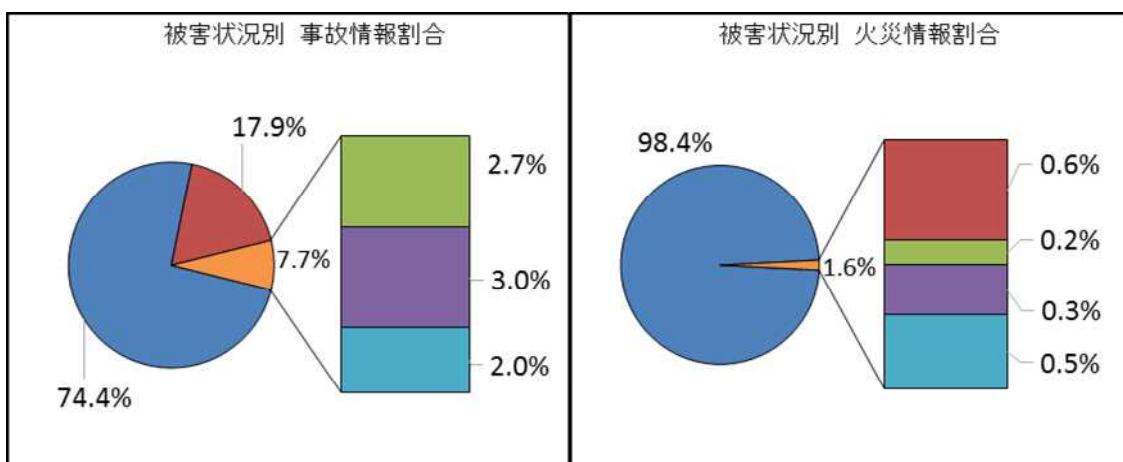
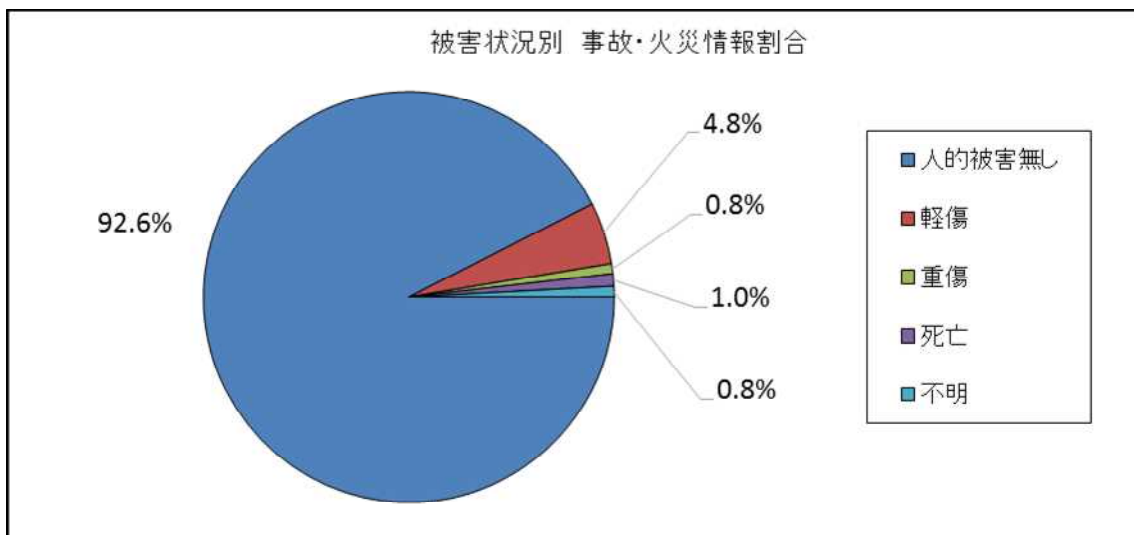


5-B. 走行距離・装置別火災情報件数



装置別	走行距離別		1~10,000km		10,001~50,000km		50,001~100,000km		100,001km以上	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
その他の装置	23	60.5%	53	52.0%	62	42.2%	189	44.5%		
原動機	3	7.9%	19	18.6%	50	34.0%	84	19.8%		
電気装置	3	7.9%	3	2.9%	9	6.1%	24	5.6%		
保安・灯火装置	6	15.8%	14	13.7%	9	6.1%	15	3.5%		
制動装置	0	0.0%	1	1.0%	2	1.4%	39	9.2%		
走行装置	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%	45	10.6%		
燃料装置	2	5.3%	10	9.8%	8	5.4%	7	1.6%		
動力伝達装置	0	0.0%	1	1.0%	4	2.7%	16	3.8%		
操縦装置	1	2.6%	0	0.0%	2	1.4%	3	0.7%		
緩衝装置	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	3	0.7%		
合計	38	100.0%	102	100.0%	147	100.0%	425	100.0%		

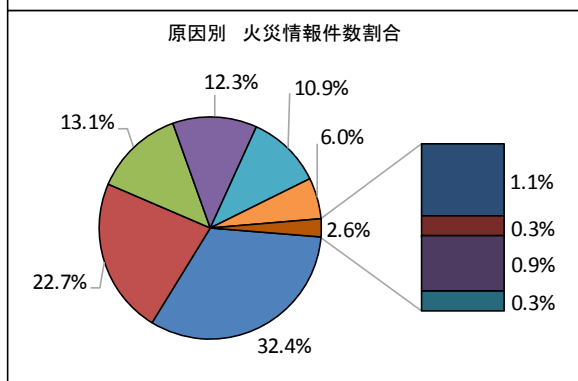
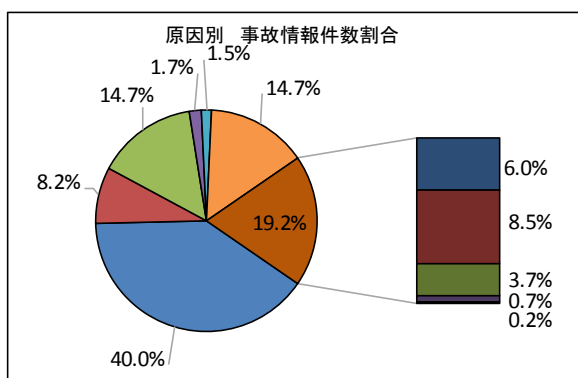
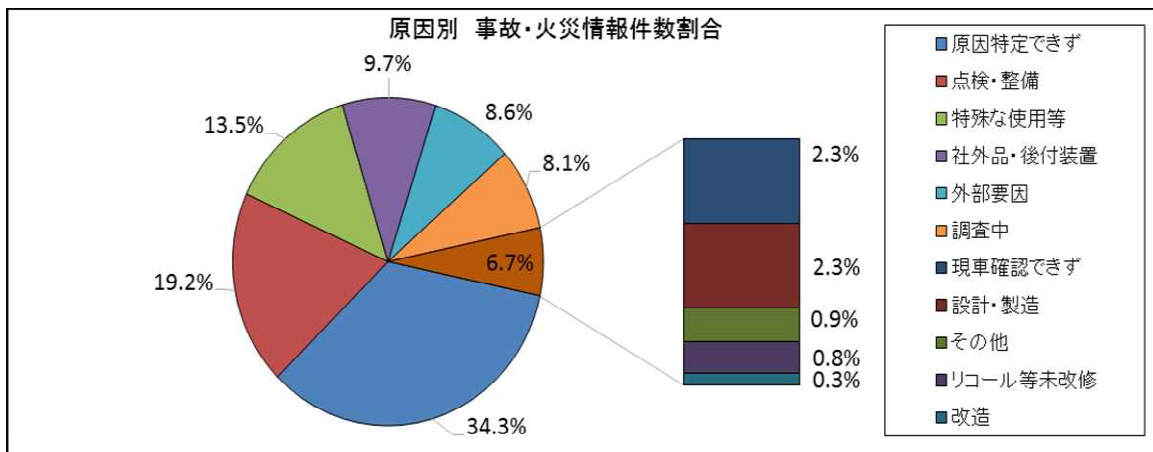
6. 被害状況別の事故・火災情報件数は、人的被害無しが1,531件(92.6%)と最も多く、次いで軽傷が80件(4.8%)、重傷が13件(0.8%)の順となっている。事象別(事故・火災)の人的被害無しの割合は、火災が98.4%に対し事故が74.4%となっており、事故の際における負傷者の割合が高くなっている。



(件数)

被害状況別 事象別	人的被害 無し	軽傷	重傷	死亡	不明	合計
事故	299	72	11	12	8	402
火災	1,232	8	2	4	6	1,252
合計	1,531	80	13	16	14	1,654

7. 原因別の事故・火災情報件数は、点検・整備が 317 件(19.2%)と最も多く、次いで特殊な使用等が 223 件(13.5%)、社外品・後付装置が 161 件(9.7%)の順となっている。特殊な使用等、社外品・後付装置及び改造といったユーザーの使用等に係わるものの合計は 389 件(23.5%)となっており、原因が特定できたものの中では 4 割以上を占めている。事象別(事故・火災)でみると、火災については、焼損等により原因が特定できないものが多いほか、社外品・後付装置や外部要因の割合が事故に比べて高くなっている。



原因別	事象別		
	事故	火災	合計
原因特定できず	161	406	567
点検・整備	33	284	317
特殊な使用等	59	164	223
社外品・後付装置	7	154	161
外部要因	6	136	142
調査中	59	75	134
現車確認できず	24	14	38
設計・製造	34	4	38
その他	15	0	15
リコール等未改修	3	11	14
改造	1	4	5
合計	402	1,252	1,654